

授業改善プラン

地域名	南房総教育事務所	学校名	南房総市立白浜小学校
-----	----------	-----	------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

○図形領域では比較的高い数値が出ていたが、その他の項目は県・全国の平均値を下回っている。無解答率も高いため、粘り強く課題に取り組む態度を育てる必要がある。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 授業45分の中で習熟の時間を必ずとることを加え、3つの柱を設定した。
 - I 問題解決学習の取り組み方を工夫する
 - II 45分の中で、習熟の時間を必ず設ける
 - III 様々な場面で効果的にICTを活用する

3. 具体的な実践

- I 実践モデルプログラムを基盤とし、「まとめあげる」の後に「つかってみる」を加えた問題解決の学習過程で授業を組み立てて実践した。
- II まとめを使って個人で問題が解けることを本当の自力解決とし、習熟の時間を確保すると同時に複数で個別指導できる体制を整えた。また、朝、昼にスキルアップタイムを設け、つまづきをその日のうちに解決できるようにした。
- III 具体物とICTどちらが適しているか、単元や授業内容によって吟味し、効果的な場面、時間短縮が図れる場面でICTを活用した。

4. 成果

- 実践モデルプログラムを基盤とした学びのスタイルが確立でき、この積み重ねによって自分も課題を解決できるという自信から粘り強く課題に取り組む姿が見られるようになった。
- 全国学力・学習状況調査の基礎的な問題については、正答率が高くなった。数と計算領域については無解答率も低くなった。既習事項を生かせば問題が解けるだろうという意識が芽生えてきている。

◆担当指導主事から（南房総教育事務所 指導主事 上代 博行）

○実践モデルプログラムの4つの過程を基盤とした授業展開を行い、「見いだす」では、児童自ら課題を導き出すことが定着している様子が見られた。「まとめあげる」に加え、「つかってみる」場面を設定し、習熟の時間を設けたり、学習した内容を生活の中で活用できる場面を考えたりするなど、確かな学びにつながる取組となっていた。